

一 爭議發生ノ場所

王子町大字堀ノ内七四一左記會社

二 事業主側

名 稱 株式會社東洋セルロイト加工所

代表者 社長 藤安藤五郎

資本金 五十万圓(全額)

事業 セルロイト製 (輸出品)

企業系統 十

使用労働者 男二〇名 女二四名 計四四名

三 労働者側

爭議参加人員 全員

應援組合及組合加入者 十名

全協日本化學労働組合 外部ヨリ煽動

アリ

爭議團本部

王子町大字堀ノ内二五

地

四 爭議發生ノ時 昭和五年十一月十二日

五 爭議發生ノ原因

會社ノ製品ハ米國輸出品大部分ヲ占メ居レルカ内外斯界不況

ニ伴ヒ外國注文全ク杜絶スルニ至リ債務約七十万圓ニ達シタ

ルヲ以テ之カ打倒策トシテ(一)従業員ノ淘汰(二)八時間労働ニヨ

ル賃金ノ低減(三)途々計畫ニ先ツ(四)業ニヨル八時間制ヲ本月

十日ヨリ實施セル結果債權者ノ刻ノ減收トナリタルヲ以テ後

従業員ハ之カ撤回方ヲ迫リ 會社側ニ於テハ之ニ代フルニ

二年以下ノ職工五十名ヲ減シ(一)ハ從來ノ賃金ヲ給與スヘシト

テ兩者ノ代表カ切リニ折衝ニ努メタルヲ翌十一日ニ至リ全後

業員ハ急業状態トナリ十二日ニ至リ爭議團本部ヲ設ケ抗争状

態トナレリ

六 要求事項并ニ其交渉状況